ひみつ新聞

いろいろな船のヒミツを調べたので、この新聞でみんなにお知らせします。

宮田晴風

ヒミツ① 世界の船

一番大きな船は？わたしの予想はおてずっぽうで90トン全長80mです。答えはノルウェーの原油タンカー「ノックネヴィス」です。昔は船の大きさは酒だるをつめる量で表わしていたので単位は重量トンです。そして二位の船ではどれだけの大きさの荷物を積めるか示す容積トンが単位でした。このほかにも三位の船の単位、20フィートのコンテナをどれだけ積みこめるかを表すTEUがあります。

感想　わたしは算数テストで単位書きわすれがたまにあります。単位の大切さが分かったので気を付けます。

船の大きさくらべ

注意：船の大きさは使う人の立場でいろいろな表し方(単位)がある。

ノックネヴィス(現役)	世界最大の船舶	564,763重量トン
	全長 458.45m	全幅 68.8m
オアシスオブザシーズ エボーエース	最大の客船	225,282総トン
	全長 361.0m	乗客定員 5,400名
	世界最大のコンテナ船	
	235,579トン	全長 399.9m
	23,992TEU.	

0.02mmは、かみのものの1/3のあつさだよ

はるちゃんとてるてる

↓答えはこちら↓

八丈島は晴れていても海がシケている日がタいそうです。わたしが行った時も4日ともあれていて泳げないビーチもありました。

0.02mmの一番小さな船は？

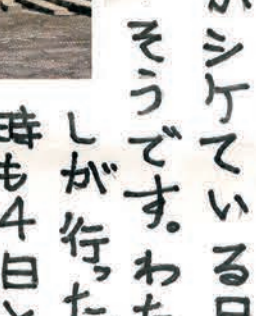
大きな船が分かったので小さな船が知りたくなりました。答えは2020年にオランダの物理学者がヨーロッパで作った0.02mmのボートでした。体の中での薬の輸送に使われるそうです。

感想　わたしは小さすぎだと思いました。でも大きいとこわいのでよいと思いました。

スペシャルなヒミツ♡ 八丈島水産総合センター

夏休みに、八丈島にフェリーで行きました。そして、水産試験場を見学しました。そこでは、漁業調査指導船の「たくなん」のことを勉強しました。「たくなん」ではキンメダイがどこで生まれるかを調査していることが分かりました。次に八丈島の近くの海で産卵している魚を計測してタグを付けて、放流する方法を教えてもらいました。「タグを付けたくないのかな。」と思いました。トンボでは、羽に数字をマジックペンで書いて移動きよりを調べるのでにていると思いました。タグの付いたアオダイはかご島県、サワラは三重県、カツオはわか山県でさかしているというポスターも見ました。見つけたら知らせましょう。

水産試験場の入リ口にはおおきなオサがメがいました。庶土港にはマオウミがメも泳いで来てうれしかったです。



お仕事中なのに、とってもやさしくたくなんのことを教えてくれました。この器具でタグを付けます。

漁業調査指導船「たくなん」の1日

- 05:00 神湊港を出発　日の出前に出発する日も！
- 06:00 調査海域へ移動　漁具の準備も行う。
- 06:30 調査開始　計測やタグ付けを行い一部を持ち帰る。
- 昼食の準備　船員が当番で行う。
- 12:00 調査終了
- 14:00 神湊港へ入港

☺その他にも海のパトロールをして海の安心安全を守っている☺

ひみつ新聞

町田だい四小学校
3年1組
宮田晴風

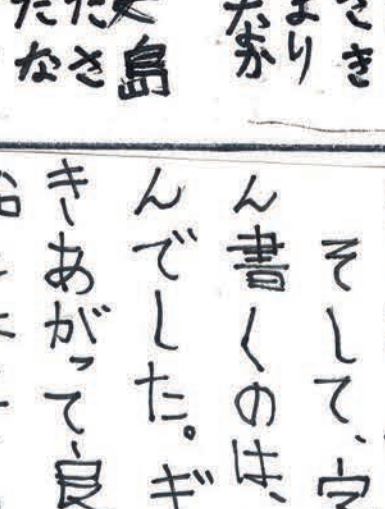
ヒミツ② 昔の舟

人間にとって、はじめてのりものは水に浮かぶ一本の木!? 大木は上手にのれないとひっくりかえったり、荷物も運べません。だから、大木のない地方では、動物の皮をはいで、手足をしばり、浮きぶくろを作ったり、木のえだや車で舟を作りました。大木のまん中をほって丸木舟にすれば、安定もするし、人や荷物をたくさんのせることもできました。

それに、はじめは足や手でこいでいたと思いますが、えだやオールを使うと、ぬれないし少しらくに進めるようになったはずです。

ヒミツ③ ジェット船

ジェット船とは、ほかの船とはちがう進み方、足などいろいろな所がちがいます。まず、フェリーはプロペラを理用しています。去年家ぞくで行った伊豆大島はジェット船で竹芝から45分ですが大型客船は6時間以上かかりました。わたしの予想は「ジェット船が海水をその海水を出しながら速い」です。



本に、書いてあったのでネットで調べました。すると、海水をすって、いきおいよくはき出すことが分かりました。

では、ジェット船はなぜ足をつけたのでしょうか。答えは水につかっているところが多いと、ていこうが多いけれどとんで船体が浮き上がると、ていこうが少なくなり、速く走れるからです。プールの中では走りにくいのと同じです。

ヒミツ④ フェリー

わたしは、フェリーのことを一ぱんてきな船だと思っています。ですが、きっとフェリーにもいろいろな、エ夫があると思います。例えば、船が沈まないのは浮力のおかげです。次にジェット船とちがう走り方をするのでしょうか。

「フェリーの方がさきに作られて、あまり速く走ろうとしなかったから」です。わたしが、八丈島に行く時にのったさるびあ丸は荷物だながカギつきの口ッカーでした。それなら、落ちることもないしぬすまれることもないけんがないので安心でした。

あと書き

八丈島で「たくさん」のことを勉強して、まとめたのが楽しかったです。四コママンガをはじめてかいて、やって良かったと思いました。

そして、字をたくさん書くのは、とても大へんでした。ギリギリにできあがって良かったです。船にはヒミツがたくさんあることが分かったのでもっと調べたいです。

さんこうしりょう
1.浮かぶくふう　中山　太郎
2.船・ボートのひみつ
3.はたらく船大図鑑③　池田良穂
4.日本船舶海洋工学会サイト
5.東海汽船のホームページ
6.八丈島水産総合センター

ヒミツ⑤ 日本の船

2024年の新札に船の絵があることは知っていますか? 答えは〝新千円札のうら〟にあります。わたしは、絵が好きなのでかつしか北さいを知っていました。だから、富がく三十六景がお札にえらばれてうれしいです。絵は迫力のある美しい波で富士山もきれいです。でも、舟は沈みそうです。